

件名	平成23年東北地方太平洋沖地震に対する四国地方整備局の災害対応状況について
----	---------------------------------------

取り扱い	発表をもって解禁
発表先	高松サポート合同庁舎記者クラブ (高松経済記者クラブ)

発表概要	<p>四国地方整備局では、平成23年3月11日14時46分頃に発生した東北地方太平洋沖地震による被害に対し、総合対策本部を設置し、被災地への支援、各種影響に関する情報の収集・分析を行っております。本日の災害対応の状況等をお知らせします。</p> <p>1) 新たな TEC-FORCE の派遣 被災した自治体との情報共有と必要な支援の実施のため、新たに宮城県名取市と亶理郡亶理町に整備局職員をそれぞれ4名、後方支援のための職員を2名、合計10名を3月22日から2週間の予定で派遣しました。</p> <p>また、現地の排水ポンプや照明車など災害対策用機械の運用のための交代要員として3月22日に4名を派遣しました。</p> <p>2) 現地の活動状況について 宮城県の名取市、岩沼市において津波による浸水排除の活動をしている排水ポンプ車、照明車等の活動の状況をお知らせします。</p>
------	---

※ 本資料は、以下URLでも掲載しています。

<http://www.skr.mlit.go.jp/bosai/sikoku/sokuhou/sokuhou.html>

問い合わせ先	四国地方整備局 企画課長 井上 清敬 TEL 087-811-8488 (本部直通) FAX 087-811-8410 (本部直通)
--------	--

平成23年東北地方太平洋沖地震に対する四国地方整備局の 災害対応状況（平成23年3月22日現在）

【I. 被災地への支援】

1) 総合対策本部の設置

四国地方整備局では、3月11日（金）に支援対策本部を設置し、被災地域への支援を行っておりましたが、今回の地震による甚大な被害及びこれに伴う社会的な影響に鑑み総合的な対策を行うために、3月14日（月）10:00から支援対策本部を総合対策本部に移行して対応しています。

2) 緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）の派遣

第一陣＝河川班、道路班、電気班、機械班、港湾空港班、ロジ班合計27名を派遣
3月12日（土）出発し、3月19日（土）に帰還

第二陣＝機械班4名を派遣

3月17日（木）出発

第三陣＝電気班2名を派遣

3月20日（日）出発

東北TEC-FORCE総合司令部要員1名を派遣

3月19日（土）出発

第四陣＝宮城県名取市及び巨理町の支援のため10名派遣

3月22日（火）出発

第五陣＝機械班4名（交代要員）を派遣

3月22日（火）出発

◆これまでのTEC-FORCE全体派遣数

四国地整から48人、延べ234人・日派遣

全国の地方整備局から、現在238人が活動中

（これまでに延べ3,187人が活動を実施：3月20日時点）

<主な活動内容>

- ◇河川班＝宮城県・江合川堤防の亀裂・陥没等の現地調査を実施。（延長約40km）
- ◇道路班＝東北道・八戸IC～八戸市役所～八戸港および国道45号の橋梁・路面等の損壊状況調査を実施。
- ◇電気班＝被災市町村等と連絡のための衛星通信機器の運転調整。旧北上川河口部・門脇水位観測所の現地調査、北上川河口光ケーブル調査を実施。
- ◇機械班＝福島県新地町等において、自衛隊等の夜間救出作業支援のため照明車等を派遣。仙台空港周辺にて排水作業を実施。
- ◇港湾空港班＝久慈港の港湾施設の損壊状況調査を実施。
- ◇東北TEC-FORCE総合司令部＝東北地方整備局に新たに設置された東北TEC-FORCE総合司令部においてTEC-FORCEの派遣調整を実施

<TEC-FORCEの活動状況／東北地整HPへリンク>

<http://www.thr.mlit.go.jp/Bumon/B00097/K00360/taiheiyouokijishinn/tecforce/index.htm>

3) 災害対策用機械、操作員・運転手の派遣

四国地整から照明車5台、排水ポンプ車5台、対策本部車1台、待機支援車2台、合計13台を東北地整管内に派遣中。操作員・運転手として協力建設業者から延べ77人(第1陣37名、第2陣34名、第3陣6名)派遣。

全国の地方整備局から災害対応車両234台を派遣(3月21日時点)

<主な活動内容>

- ・自衛隊等の作業用として照明車を設置。
- ・石巻市の北上川中学校(避難所)に待機支援車を設置し、避難施設の一部として活用。
- ・排水ポンプ車を設置(宮城県名取市2箇所、岩沼市3箇所)し、宮城県内の津波による浸水区域の排除作業に従事。同時に照明車を派遣し、排水作業を支援。

4) 災害対策用ヘリの派遣

<主な活動内容>

3月11日(金)16時に高松空港出発。

13日(日)調査開始。福島県全域の被害実態調査実施。

14日(月)福島県、宮城県被害実態調査を実施。

16日(水)静岡県東部で発生した地震の実態調査を実施。

現在、埼玉県のホンダエアポートで待機中。

5) リエゾンの派遣

西日本ブロックの地方整備局が連携し、3月14日から国土交通本省防災センター内にリエゾンセンターを設置。四国地方整備局からは、2人派遣し、本省との連絡調整を密にし素早い対応を行うことができる体制を整えています。

【Ⅱ. 四国における各種影響に関する情報の収集・分析】

1) 学識経験者による津波対策等への提言

被災地に対する支援のあり方や、今回の災害を踏まえ、東南海・南海地震対策の強化すべき点等について、四国内の大学の研究者から助言をいただく場として、3月14日(月)に「東北地方太平洋地震アドバイザー会議」を開催し意見交換。

2) 国の出先機関等による情報共有

四国にある国の出先機関等の対応状況や四国への影響等について情報共有を図ることを目的として、各機関の長による緊急会議を3月17日(木)に開催し、意見交換。

<参加機関>

四国管区警察局、四国総合通信局、四国財務局、四国厚生支局、中国四国農政局、四国森林管理局、四国経済産業局、中国四国産業保安監督部四国支部、四国地方整備局、四国運輸局、四国地方測量部、高松地方气象台、高松海上保安本部、中国四国環境事務所高松事務所、西日本高速道路(株)四国支社、四国電力(株)、四国旅客鉄道(株)、西日本電信電話(株)四国事業本部、(株)NTTdocomo四国支社

【Ⅲ. 建設業界等関係団体との連絡調整】

被災地域の復旧作業支援に向けて、派遣可能な建設機械や操作員、建設資材などを把握するための調査を四国管内4県の建設業協会に依頼し、回答を得ている。

【IV. その他】

1) 所管施設における節電の推進

電力不足に対する政府の方針を受け、四国地方整備局が所管している庁舎、河川、道路、公園等の施設において、利用者等に対する安全確保に留意しつつ、節電に努めています。

【3月22日の被災地域での活動内容】

(機械班)

- ・排水ポンプ車5台、照明車5台は宮城県名取市の名取川河口右岸1カ所、名取市小塚原1カ所、岩沼市の五間堀川1カ所および阿武隈川河口左岸2カ所の5箇所排水作業を実施。詳細な、位置及び活動写真は次ページ以降（別紙-1）に掲載。
- ・待機支援車1台は、引き続き石巻市の北上川中学校（避難所）で避難施設の一部として活用。
- ・対策本部車1台は、押分排水機場で活用。

(電気班)

- ・旧北上川河口部・門脇水位観測所の現地調査、北上川河口光ケーブル調査を実施。

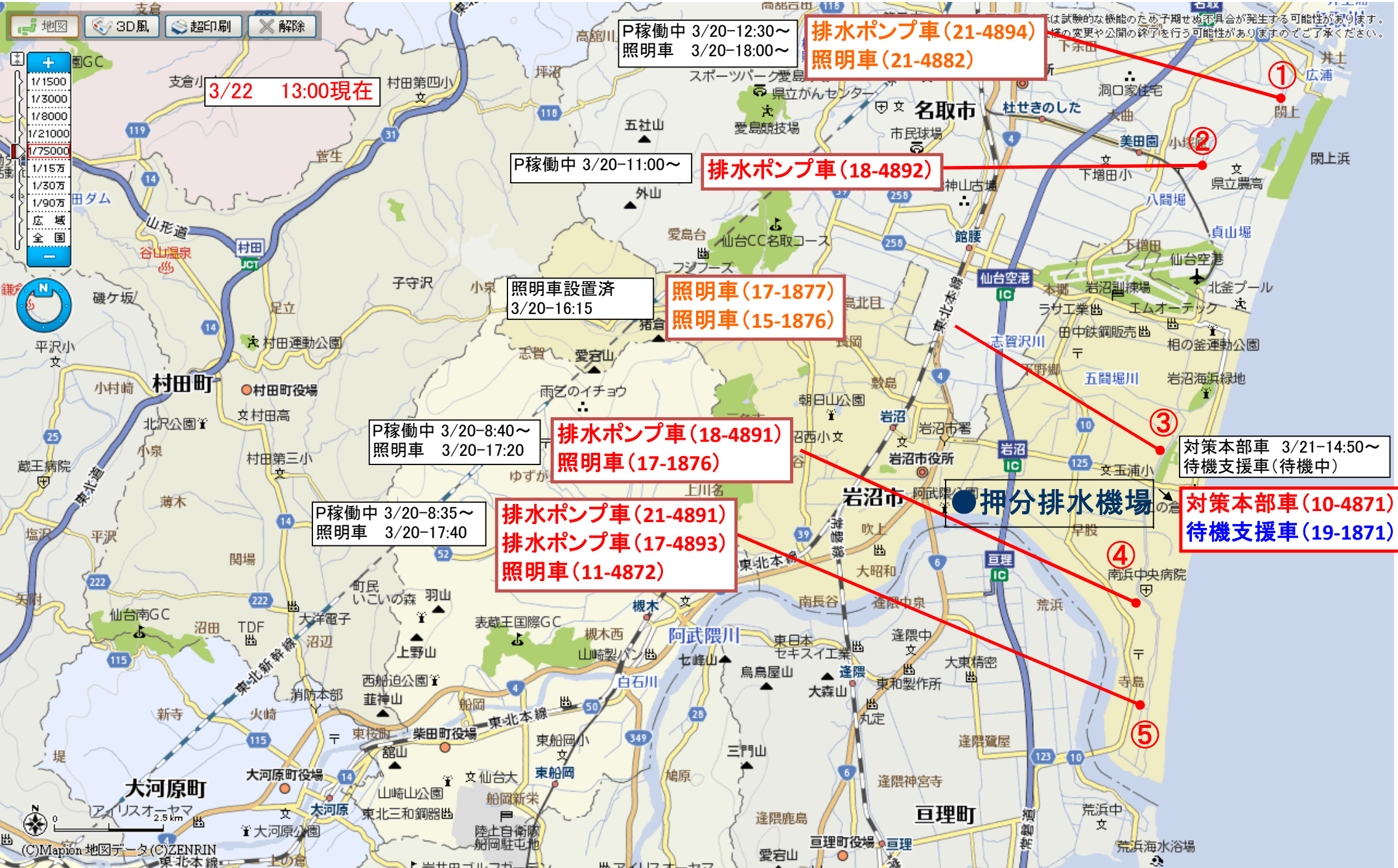
(東北TEC-FORCE総合司令部要員)

- ・東北地整において、情報連絡、調整業務に従事。

※本情報は速報であり、その後、変更の可能性があります。

※（下線部）は、前報から変更のあった情報です。

災害対策機械の活動状況(3月22日13:00現在)



テックフォース活動状況写真 3月21日

排水ポンプ車・照明車



四国地方整備局 緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)出発式の様子 3月22日

